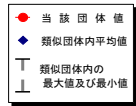


(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	19,130人 (H23.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	206.71 km ²	連結実質赤字比率	-%
歳入総額	13,646,446千円	実質公債費比率	12.5%
歳出総額	13,283,648千円	将来負担比率	82.3%
実質収支	297,197千円	市町村類型	H18 IV-O H19 IV-O H20 IV-O
標準財政規模	7,337,288千円	(年度毎)	H21 IV-O H22 IV-O
地方債現在高	11,576,741千円		

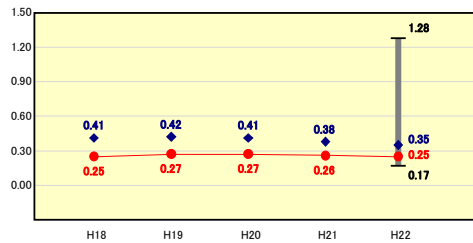


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.25]

類似団体内順位 26/33 全国平均 0.53 鳥取県平均 0.35

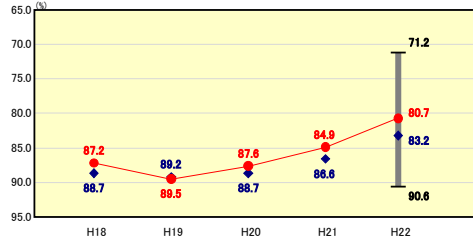


財政力指数の分析欄
 類似団体平均値を0.1ポイント下回っています。前年度と比較しても0.01ポイント下回っており、税収の低迷が続く中、厳しい財政状況となっています。限られた財源の確保に向けた徴収率の向上と、ふるさと納税制度の積極的な推進、未利用財産の有効活用等により、更なる財源確保に努めます。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [80.7%]

類似団体内順位 8/33 全国平均 89.2 鳥取県平均 85.5

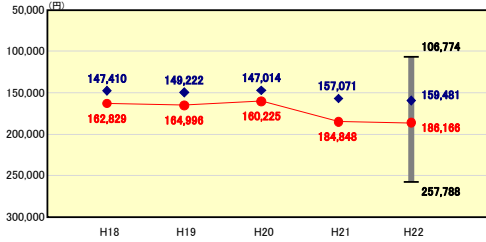


経常収支比率の分析欄
 類似団体平均値を2.5ポイント下回ってはいますが、依然財政の硬直化は進んでいません。今後歳出の多くを占める繰入金も減少の見込みがないことから、徹底した経費の節減に努めなければなりません。今後も80%台前半を維持できるよう、経常経費の縮減に努めます。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [186,166円]

類似団体内順位 28/33 全国平均 114,985 鳥取県平均 124,940

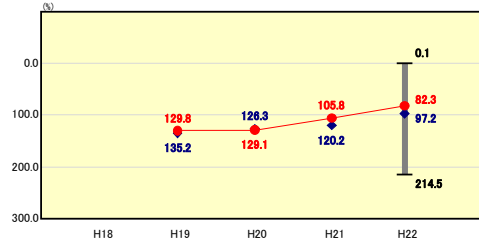


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体平均値を上回っていますが、これは施設数(保育所等)が類似団体に比べて多く、人件費、施設維持管理経費が多量になっていることが要因です。今後は保育所等施設の適正配置について推進し、係る経費の削減を図ります。

将来負担の状況

将来負担比率 [82.3%]

類似団体内順位 15/33 全国平均 79.7 鳥取県平均 122.9

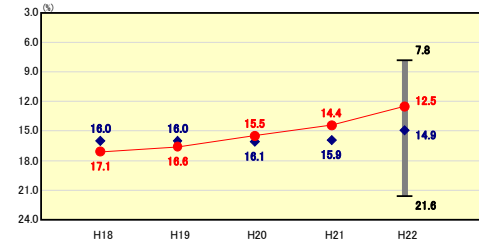


将来負担比率の分析欄
 類似団体平均値を14.9ポイント下回り昨年度と比較し、23.5ポイント改善しました。基金の増と4公営企業債等繰入見込額の減少が要因となっています。今後も事業を厳選し地方債発行の抑制をし、地方債残高の適減に努めます。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [12.5%]

類似団体内順位 9/33 全国平均 10.5 鳥取県平均 17.7

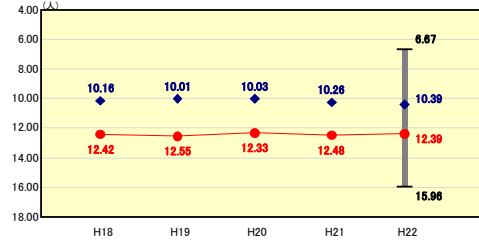


実質公債費比率の分析欄
 類似団体平均値と比較し2.4ポイント下回っており、本町前年度と比較しても1.9ポイント改善しております。補償金免除繰上償還等影響し町債償還額が減少していることが要因の一つであり、今後も計画的な町債の発行により比率の抑制に努めます。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [12.39人]

類似団体内順位 29/33 全国平均 7.24 鳥取県平均 7.77

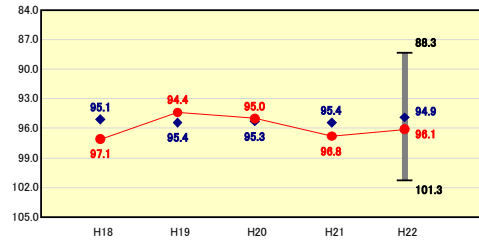


人口千人当たり職員数の分析欄
 類似団体平均値と比較し、2.0ポイント上回っていますが、これは類似団体と比較し保育所等施設数が多いことによるもので、今後は適正配置により縮減を図る必要があります。また、本町前年度と比較すると0.09ポイント減少しています。これは職員の新規採用を定年退職者数の4割補充とする定員適正化計画に基づき職員数を縮減しているため、今後も計画に沿って職員数の管理を行ってまいります。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレズ指数 [96.1]

類似団体内順位 24/33 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレズ指数の分析欄
 類似団体平均値と比較し、1.2ポイント上回っており、本町前年度と比較し0.7ポイント改善されました。現給補償額の減が影響していることが要因の一つではありますが、今後は総人件費の抑制に努め、指数の改善を図ります。